

実際に足を運んで実態を知る、その土地を体験する

震災の記憶を忘れない

元々理解がある人に福島で観光なり移住なりをさせることで、不安な人たちにも段階的に安全性を示す

農作物を買う・食べる

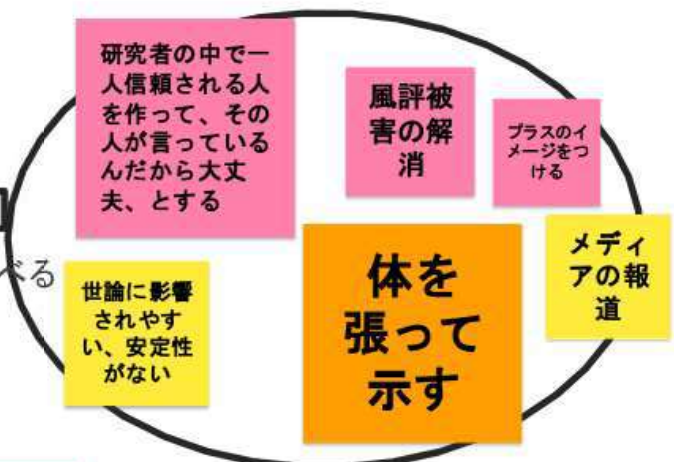
【福島復興のカギは？】

合意形成のためのコミュニケーション

農業 原発事故後の対応

復興支援に関わる資金の流入だけでは不十分

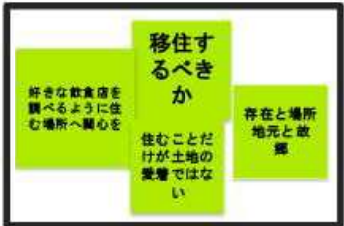
資金調達先細らないよう、達成できたところ、不十分など両方を示す



身近な人と話すことで風評被害にアプローチする



# まち



心の復興、故郷へのアイデンティティの再獲得

地元の人が当事者意識を持つこと

「住」に興味を持つ

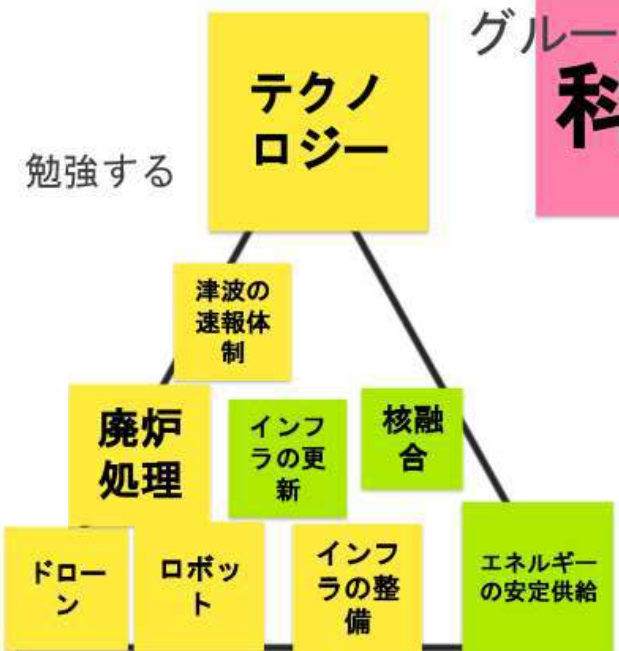
そもそも復興とは？

【福島復興のカギは？】

平時にも存在する問題の解決

グループ②

# 科学

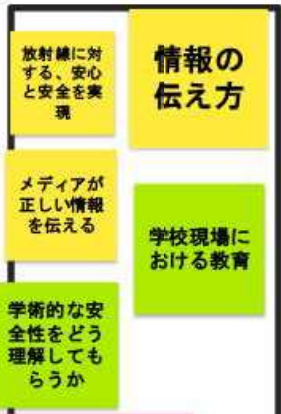


現実的な計画（汚染土の移動先とか）

理性的な話し合いの仕方

community

# 情報



風評被害の解決

偏見の解消

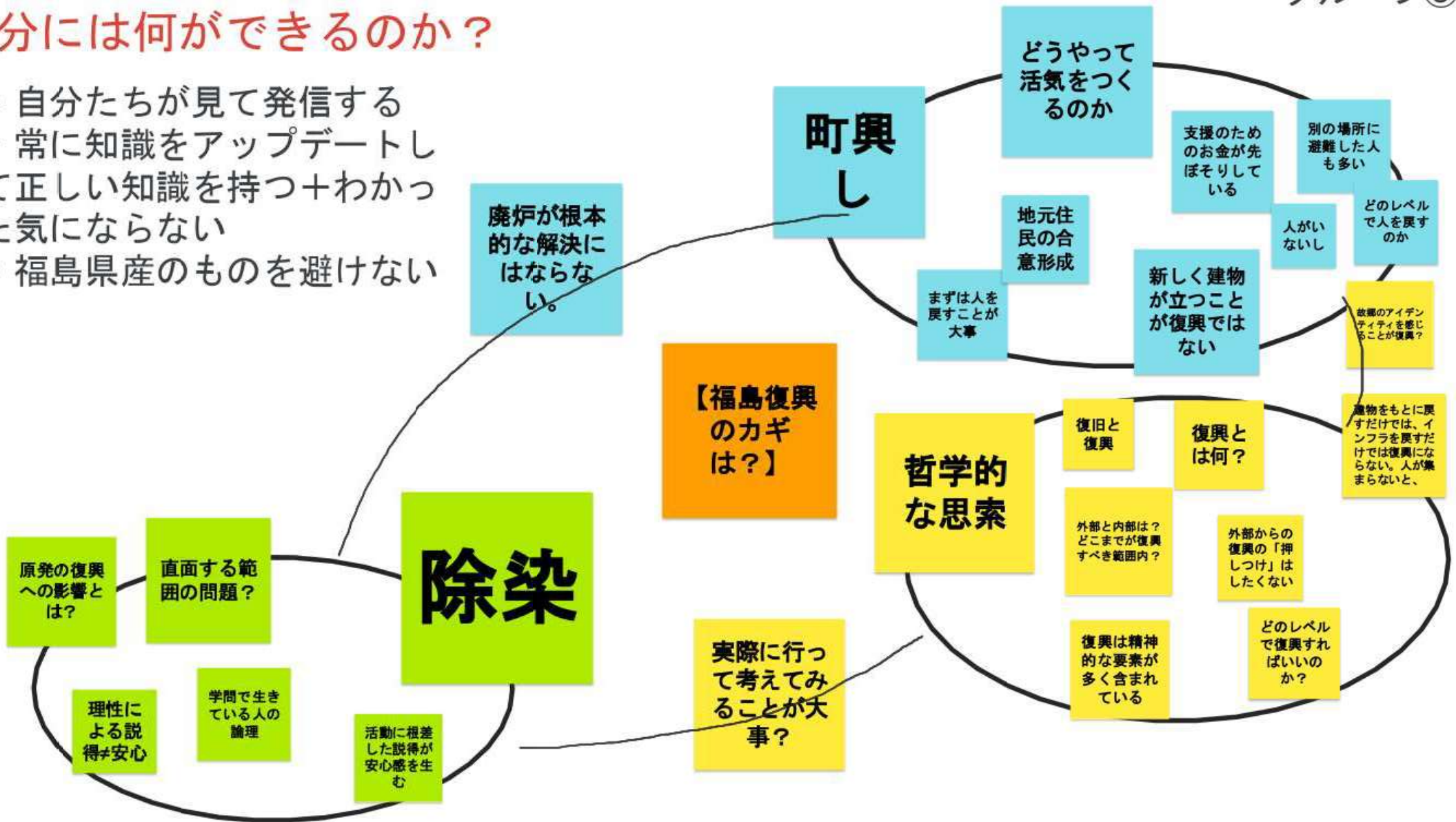
他の地域から人を集める

自分で足を運んでみる

自分が正確な意見を持ち、間違った意見を発信しない

# 自分には何ができるのか？

- ・自分たちが見て発信する
- ・常に知識をアップデートして正しい知識を持つ+わかった気にならない
- ・福島県産のものを避けない



【福島復興のカギは？】

実際に行ってみることが大事？

# グループ④

## 【福島復興のカギは？】

- ・福島県産の食品を買う
- 地方創生に力を入れる/入れている人に投票する
- 福島の現場に行く
- 学術的な発信とその研究成果をSNSで発信する
- お金を稼いで、福島に寄付する
- 新たな土地利用方法の発明

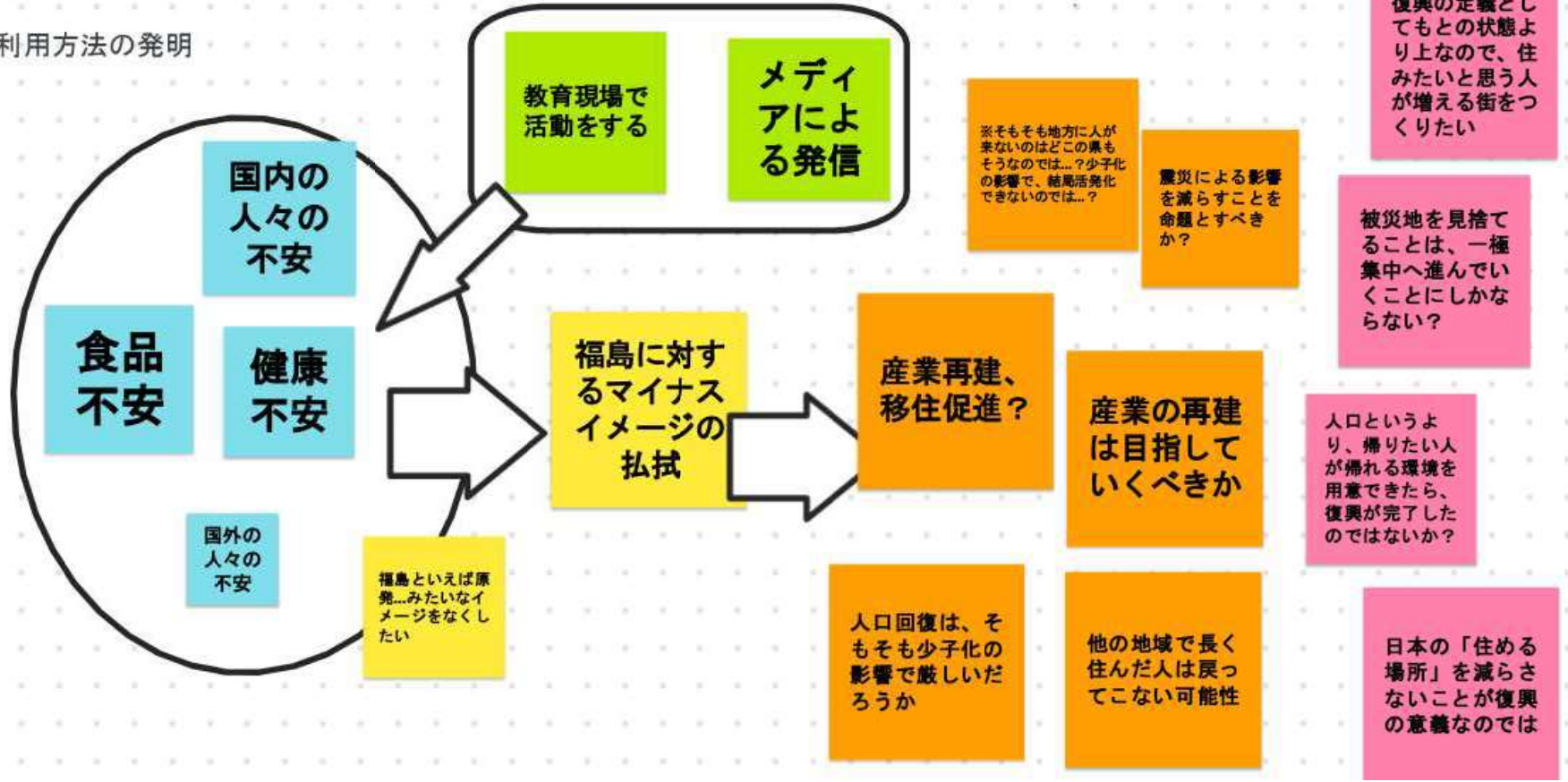
デマを広げない  
風評被害を生まない報道を実現する

福島復興知学の授業として、SNSアカウントを作って、活動発信をする（福島訪問など）

マイナスから0ではなく、プラスを生み出す開発。土地を生かして、新たなことを行う。（ドローンフィールドなどのように）

汚染土の処理はどうするか？

当事者が元のように住めるようになること



復興の定義としてもとの状態より上なので、住みたいと思う人が増える街をつくりたい

被災地を見捨てることは、一極集中へ進んでいくことにしかない？

人口というより、帰りたい人が帰れる環境を用意できたら、復興が完了したのではない？

日本の「住める場所」を減らさないことが復興の意義なのでは